

2月8日 県政報告会資料

山口県議会議員 岡村 精二

アメリカの金融危機による世界的な不況は、企業業績の悪化、資金繰りの困難、派遣社員の解雇など日本経済に大きな影響を与えています。

山口県もこの危機的状況を受け、年末には臨時県議会を召集し、緊急雇用対策として再就職支援、生活支援のための補正予算、約29億円を組み、対策と取り組んでいます。

かつて日本社会が経験したことのない、先を見通すことの難しい状況となっております。山口県も本格的な地方分権時代に対応できる自立と、責任ある地方自治を確立しなければなりません。

議員として、山口県中山間地域振興条例、ふるさと産業振興条例の制定、山口県青少年健全育成条例の改正などと取り組んでまいりました。しかし、そのたびに行政特有の「先例主義」「事なかれ主義」という厚い壁を感じています。

行政改革とは職員の意識改革ということを感じた6年でもありました。

そのために生活者の起点に立った政策を提案し、「自ら行動し、夢を形にしていく議員」を目指すべき議員の姿として、みなさまの期待に添えるよう、努力してまいります。

今年が私が、心豊かな冒険心あふれる子どもたちを育てることを目的として塾を開校、青少年教育と本格的に取り組むようになって25年目を迎えました。

4泊5日の子ども自然体験キャンプは25回目、客船を使用したジュニア洋上スクールも20回目となります。昨年はその活動を創元社のご好意で、『手紙でつむぐ親子のきずな』として出版させていただきました。

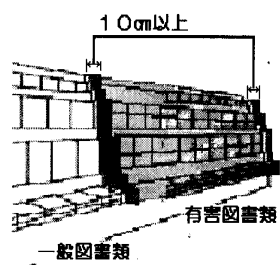
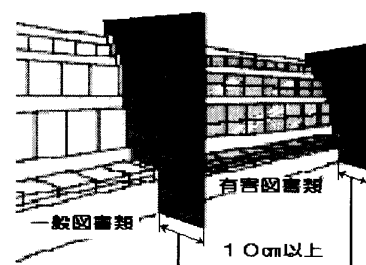
私にとって、人生の折り目・節目の年です。新たな取り組みとして、急増している不登校や引きこもり、高校中退の子どもたちを支援するため、広域通信制単位制の高等学校の新設を計画しています。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

昨年の出来事

A：議会関係

- 1) 総務企画委員会：副委員長として、県の財政、行政改革、岩国基地問題、上関原発など大きな課題に取り組んでいます。
- 2) 土木建設業における低価格入札
平成19年12月議会では「土木建設業で問題となっていた低価格入札」について、アンケート調査をもとに一般質問を行い、その内容が『中建日報』のトップ記事として扱われました。
調査基準価格：予定価格の約82%
判断基準価格：調査基準価格の約3%下
予定価格の事前公表の取りやめ：来年7月からで調整中
建設労務費の引上げ：実施予定
総合評価制度の見直し：検討中
- 3) 青少年健全育成条例の改正（有害図書：日本一厳しい規制）
「子どもを守ること」よりも「ことなかれ主義」「先例主義」が優先する行政。
- 4) 「ふるさと産業振興条例」の制定
「山口県中山間地域振興条例」に次ぐ議員立法を制定
- 5) 暮らしの安全・安心強化特別委員
約2年かけて取組んだ提言



B：社会的活動

- 1) 「手紙でつむぐ親子のきずな」(株創元社)を7月出版しました。
「親子・家族の絆」をテーマに子ども自然体験キャンプやジュニア洋上スクールで、子どもたちに実施している「ご両親からの手紙」「感想文」を一冊にまとめました。
- 2) 角打ち「鍋島」が山口宇部空港に開店しました。
障害者自立支援法に基づく就労の場作りとして、社会福祉法人南風荘の障害者が加わって運営しています。ぜひ、ご利用下さい。場所は2階出発ロビー搭乗口の横にあり、全国でも初めての試みです。日本珍百景に応募しています。
- 3) 第19回ジュニア洋上スクール in 韓国
春休み6泊7日の日程で80名の子どもたちと韓国を訪れ、小学校でスポーツ文化交流会などを行いました。
- 4) 第25回子ども自然体験キャンプ in 阿蘇(仙酔峡)
夏休み4泊5日の日程で開催し、165名が参加しました。昭和59年以来、25年目を迎えましたが、最近、長期キャンプを、しかも小学1年生から参加できるキャンプは珍しくなりました。
- 5) 「宇部ロハス計画」始動
ロハスとは、健康と環境に配慮した生活スタイルのことです。街がきれいになれば、心がきれいになります。心がきれいになれば、犯罪がなくなり、安心・安全・安らぎにあふれた街になります。郷土愛が深まれば、地域の「絆」も深まります。修養団で毎年実施している市街地清掃奉仕活動の輪をもっと広げていければと思います。統一のジャンパーを作りました。



NEWS 2009.2.10 発表

松下教育研究財団「心を育む教育」
中四国ブロック大賞 受賞

第1回「心を育む教育」大賞の受賞候補に決まり、1月12日、東京の財団本部から事務局長、研究員、記者の3名が視察に来られ、NPO法人「森と海の学校」の取組みについて、スタッフや参加者、保護者の意見を聞かれました。

全国的にも、4泊5日のキャンプを25年間も続けている民間団体はないそうです。特に、学生を中心スタッフとしたキャンプやジュニア洋上スクールなど珍しいとのことでした。その後、審査会があり、先日「心を育む教育」ブロック大賞授賞が決まりました。

ボランティア活動といえば、福祉ばかりが取り上げられ傾向がありますが、炎天下、子どもたちのために一生懸命がんばっている学生たちに光を当てて頂けたことに感謝しています。

授賞式は3月20日、東京で開催され、3名招待されるそうです。賞状と盾のほかに、副賞30万円が頂けるそうです。

